



弁護士 八木橋俊輔^{さん}

やぎはし しゅんすけ
虻田町（現洞爺湖町）出身。早稲田大学法学部を修了した後、日本大学法科大学院を修了。平成19年に司法試験に合格し弁護士に。
平成23年12月1日に登別市内唯一の弁護士事務所『のぼりべつ法律事務所』を開設した。

気軽に足を運べる法律事務所をつくりたい 病院に行くのと同じくらい

話に耳を傾ける真剣な表情と、時折見せるやわらかい笑顔が印象的な八木橋さんは、昨年12月、登別市内唯一の法律事務所を開設しました。

八木橋さんは虻田町（現洞爺湖町）出身。大学で法律を学び、悪質商法や労働問題など、自分が育ったまちでも起こっていた問題に興味を持ち、「どんなに人口が少ないまちであろうと、声が大きいや力の強い者の意見だけが通ってはいけない。法の下に平等でなければならぬ」と、弁護士の道を志しました。

札幌市での勤務の後、登別市を法律事務所開設の場として選んだ理由は、ふるさとである西胆振で、市民が気軽に法律相談ができる場をつくりたかったから。

しかし『法律事務所』や『弁護士』というと敷居が高いというイメージが付きまといまいます。

「『弁護士に相談した方が良くかもしれない』と少しでも思ったらまずは電話をしてほしいです。その一歩で、深刻な事態になる前に解決できることもたくさんありますから」と八木橋さんは言います。

市内で唯一の法律事務所ということもあり、市民からは大きな期待が寄せられています。

「初めて弁護士に相談する方も多いので、私の振る舞いが『弁護士』の印象になるということもあり、今まで以上のプレッシャーを感じてい

ますが、同時に、相談に来てくださる方が『登別市に来てくれてありがとう』と、とても喜んでくださるのでやがたい感じます」と話してくれました。

最後に2012年に挑戦したいことを尋ねると、「病院に行くのと同じくらい気軽に足を運べるような法律事務所を目指して、今年はまだ、目の前のことを一つ一つやるしかないと思っています」「いずれは高校生に、法律をもっと身近に感じてもらえるような法教育にも取り組みたいですね」と、登別市の未来を見つめる八木橋さん。今日も相談者と向き合い、その話にじっくりと耳を傾けています。



▲市職員や民生委員などを対象に行った『多重債務問題研修』で講師をする八木橋さん